



ぴらぴだより

No.3.2025.5.30

『はじまりは一枚のチラシから』

昨年度のぽろびっぴ親子体験会の際、「みのちゃんは、なぜびっぴに来たんですか？」関良太さんからこんな質問を頂きました。上田女子短期大学で講師をされていたまゆさんとのご縁でスタッフになった私ですが、一年目は幼少期、二年目は自然保育との出会いをメイン原稿で語ったので、今回は短大入学までを語ろうと思います。長文になりますが、思い出話にお付き合いください。

入園説明会等で語らせて頂いたこともあります。私は社会人経験を経て保育者になりました。有休消化を残し退職した翌日、私はハローワークへ求職活動に向かいました。退職日を12月末付けにしたので11月中旬のことです。国家試験で保育士資格取得を考えていましたが、少しでも早く現場に関わりたい想いを胸に求人窓口へ・・・資格が無いことは、やはり大きな壁となります。春からの新卒枠が決まっているこの時期、タイミングにも恵まれていないようでした。次の仕事も決まらないまま、時期も考えず退職したことを後悔しながら帰る途中、ハローワーク出口付近で【職業訓練コース案内】が目にとまりました。たくさんの案内が貼り出されていますが、この時期は受講できる講座もまったくありません。この先どうしよう…。数時間前まで燃えていたやる気も消え失せ、意気消沈。最後に見つけた【長期高度人材育成コース】の一覧に【保育士】が記載されていることを見つけました。『文化学園、女性のみ数名募集、4月入学、入学金と学費免除』急いで中に戻り「外に貼ってあった長期人材育成を受けたいんです！！！」あの貼り紙とは本当に奇跡の出会いでした。

調べて頂くと、上田女子短期大学も選択できることがわかり、両校の締め切り日まで残りあとわずか。担当の方も「ギリギリで間に合わないかも」と焦るほど間際のことでした。そこから怒涛の勢いで、制度申請、適正審査、数回の面談、各校への見学申し込み、学校見学、入学願書作成・・・締め切りの数日前に申請を終えました。ハローワークへ行くのが数日遅かったら間に合わなかったかもしれません。その後、入学した上田女子短期大学で酒井真由子先生、自然保育、まゆさんと出会い今のご縁に繋がっています。

上田女子短期大学での【長期高度人材育成コース・保育士養成科】は2019年から始まった取り組みで、私は第二期生になります。雇用保険を受給しながら、学校で学べる有り難い制度です。利用させて頂けることに心から感謝しつつ、学ぶ喜びと楽しさを感じて過ごした二年間は私の宝物です。私が受講した年には保育士と介護福祉士のみだったと思いますが、現在は修得できる資格も増え、パティシエ、栄養士、IT人材育成等も開講されています。さらに、女性のみが受講可能だった保育士養成科は男女共学校が増えたことで、男性でも受講可能に！今年度も、長野県内の短大や専門学校で様々なコースが開講しています。

在学中、この制度を受講した同期たちと話したことがあるのですが、制度を知っていて退職した人はいませんでした。何も知らずに制度を利用できた私たちは、とても運が良かったのです。私にとってさらに運がよかったことは、まゆさんに出会えたこと。私は、まゆさんが短大講師を担当して下さった最後の世代です。もしも、退職時期が違っていたら、あの貼り紙に気付かなかったら、上田女子短期を選んでいなかったら、まゆさんと出会っていなかったら…私は今ここにいません。制度に出会って短大で学べたこと、ご縁に恵まれぴっぴと、みなさんとお出会えたことは間違いなく私の人生で一番運が良かったことです！！良太さんからの質問「みのちゃんは、なぜぴっぴに来たんですか？」の答えを改めて考えると「偶然に偶然が重なって、めちゃくちゃラッキーだったんです」かもしれません（笑）

様々な紆余曲折があって、私はここにたどり着きました。偶然も必然。辛いことも、何気ない選択も、人生のすべてに意味があることを心の底から感じています。きっと、それは私だけに限らず、みなさんにも言えることだと思います。あの時こうしていなければ、この選択をしていなかったら、あの人に出会っていなければ、この場所に出会っていなければ…たくさんの選択と偶然が重なって、ここでご縁が繋がっていることが奇跡に思えてきますね。奇跡のような『あなた』とのご縁に心から感謝を…。

：佐藤美典

庭の恵みを食べよう!遊ぼう!楽しもう!6月

木の緑が深く、こもりと繁ってきましたね。6月に入ると梅雨もあり、一層森の中はう。そうと
してきます。その深い緑の中にポッとスポットライトがあたったかのように様々な所でいくつもの
白い花たちが咲き競っています。風が吹くとふわと薫る甘い香りはミツバウツギで
しょうか。米粒のような小さなつぼみをいくつもつけ、花は虫の大好物(笑)ほんのり甘く

総苞片

こいが
花



《ヤマアジサイ》

半日陰や
湿り気のある林や沢ぞいを好む
丈夫なので、育てやすい。

やわらかい若芽も食用できます。雨の季節によく咲く花
といえばアジサイ。山にある原種のアジサイは白くて、
花数は少なく、(正確には花びらではなく特殊化した葉で総苞片といいます)
とても清楚な花です。

秋にまん丸な赤い実が

子どもたちに人気のヤマボウシ

こちらも花びらにみえるのは総苞片

なのですが、やはり、色は白。

4枚の美しい白い総苞片が 緑の中に
美しく、遠目から見ると、木全体が真白に



新芽は
食べられる
花も甘い
(マスカット味!?)
(イチヂク!?)

《ミツバウツギ》

《ヤマボウシ》

果実は生食でき、マンゴーのような甘さで
果実酒などがオススメ
鳥たちが秋にたくさんくる



秋の赤い実と紅葉



株立ちする
姿は美しく
街路樹、庭木にも
よく使われる

みえるほどです。秋の紅葉もマツトな感じで
美しく、庭木などにも好まれています。

この季節、一番好きな白い花は?と聞かれたら
どれも大好きですが、『カンボク』かなあ...

そのかんむりのような、リースのような花がとても愛らしい
みているだけで幸せな気分になれます。

《カンボク》

またたび(木天蓼)

はつば小生の木本で別名「夏梅」
梅のような白い花を咲かせ
花の咲く時期に葉の半分
くらいが白色に変色します

《またたび》 特別編!

ほほも
白い!?



これらの木々が、この季節に白い花を

咲かせるのは、濃い緑の中で白が目立つため。

虫たちにみつけてもらうため、と言われて

います。また、香り高い花が多いのも

虫を呼びよせるための花々の戦略。

でも、私たちに人間にとっては(も?)

バリエーションのいい香り、美しい姿と感じ

られることが、とても不思議で、とても

素敵なことだなあと思わずにいられません。

© 2025 阿部菜々恵



少し显つた所を好む
秋に赤い実がなる
庭木にもオススメ

たはただよ

田んぼで しろかき してきました！

お田植え前の大事な作業...

それは 泥んこ運動会！

水を張ったばかりの田んぼの中に入り、ぐちゃぐちゃと歩いたり、走ったり、おなかがついてワニのようにおさんぽしたり)... みんなで動きまわることによって土がとろとろになり、その土が沈んででこぼこした田んぼの底のすきまを埋めて 水が抜けにくい田んぼになる。

目の前にひろがる 大きな大きな 泥んこプール。

ワクワクしちゃう人も、怖さを感じる人も、まわりの人のようすをみている人も、入らないと決めている人もいます。

あ！ 去年 入らなかった あの子が入ってる！

今年はどんなしろかきができるかな〜とこちらもワクワク。 前の日に子どもたちで話し合った

・みんなでジャンプ・つなひき・リレー

最後は角材をロープでひっはって。

田植え前の田んぼは わたしにとっても たんの楽しい

遊び場でした！

はるこ